

中東4カ国の政府職員 美郷の観光振興学を

JICA 石積みなど視察 研修事業

美郷地区を訪れ、石積みや農家民宿などの美郷観光を視察した。国際協力機構（JICA）による研修事業の一環。

訪れたのは、エジプトやイエメンなどの観光部門の職員5人。農家が経営する民宿やレストラン、石積みの保全活動などを見学し、美郷商工会の高木義夫経営指導員から、住民が主体となり観光振興に取り組んでいるとの説明を受けた。

パレスチナの観光・遺産省職員ハレッド・ダラマーさん37は「美郷の人は親切で、もてなしの

心にあふれていて素晴らしい」と話した。

古代遺跡など中東には観光資源が豊富にあるものの十分に活用できてお

らず、地域の特長を生かした観光の在り方を探ろうと来日。関西を中心に各地の事例を視察し、21日に帰国する。



住民が保全に取り組んでいる高開の石積み
を視察する中東の政府職員—吉野川市美郷大軒

日本の観光振興策を学ぼうと、中東4カ国の政府職員が6日、吉野川市